

当院では後発医薬品を積極的に 使用しています

当院では、後発医薬品を積極的に採用しており「地域支援・医薬品供給対応体制加算」を算定しています。

昨今、一部医薬品の供給が不安定な状況が続いておりますが、当院ではこの状況下においても患者さんの治療に影響が出ないように、必要な医薬品を確保できるように努めています。

医薬品の供給状況によってはこれまで服用されていたお薬と成分は同じですが名称等が異なるお薬をお渡しする可能性もありますが、処方医と十分に協議を行ったうえで治療に影響が出ないように対応いたしますので、ご安心ください。

必要に応じて、薬剤師が説明を行いますので遠慮なくご相談ください。



独立行政法人国立病院機構
宇多野病院

当院では一般名処方を導入しています。

一般名処方とは…

外来処方箋で、**後発医薬品**が存在する**医薬品**について薬価基準に収載されている品名に変えて、**一般的名称に剤型及び含量を付加した記載による処方を行う事**です。

記載例)

- ・ **先発品**

ロキソニン錠**60**mg

- ・ **後発品**

ロキソプロフェンナトリウム錠**60**mg「〇〇
(メーカー名等)』

- ・ **一般名処方**

【般】ロキソプロフェンナトリウム錠**60**mg

先発品、**後発品**による処方は銘柄指定となり、原則指定された薬剤での調剤しか認められませんが、**一般名処方**の場合、**有効成分が同一であるどの医薬品（先発・後発・メーカー問わず）での調剤も可能となります。**

ご不明な点等ございましたら、
薬剤部窓口まで遠慮なくご相談ください。

独立行政法人国立病院機構
大阪刀根山医療センター

